



## 特集 身近なものを、大切に

グリーンズ

### 基山発・学生団体「CLEANS」最後のおゆずり会

12月24日、基山町立図書館の外で、使わなくなった文房具やおもちゃを交換・譲渡する「おゆずり会」が開催されました。

このおゆずり会を主催したのは、町内の学生ボランティア団体「CLEANS（クリーンズ）」。「企画書の作成から広報、運営まで、高校2年生のメンバーたち自身の手によるものです。

#### 身近なSDGsを

令和2年の冬、子どもに寄り添ったイベントの開催を通じて、ものを大切にする習慣を広げたいとの思いから、CLEANSが結成されました。当時中学2年生だった内田のぞみさんや堤千紗さんを中心に4名が集まり、令和3年に初めてのおゆずり会を開催しました。

自分が使わなくなった文房具やおもちゃも、誰かにとって大切なものになるはず——。手探りで始めたおゆずり会は、基山のイベントとして定着し、約3年間で12回開催されました。

#### SDGsとは

2030年までに持続可能でよりよい世界をめざすための国際目標。目標のひとつに「つくる責任 つかう責任」があり、消費者・生産者がともに、限りある地球の資源を守るために努力することが求められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

#### 必要なものを、必要な人に

おゆずり会当日、会場では朝から親子連れなどが開始を待っていました。テントの下に並べられた何十本ものペンや鉛筆、大小さまざまなおもちゃに、子どもたちは目を輝かせます。この会のルールは「必要なものを、必要の人に」。すでに同じようなものを持っているか、最後まで大切に使えるか、しっかり吟味してお気に入りを探します。

会場では、用意されたシールやビーズ、リボンなどを使って、文房具をリメイク（手を加えて新しいものに生まれ変わらせること）することもできます。譲り受けた文房具を世界にひとつだけのものに変身させ、より愛着を持ってもらうための仕掛けです。

CLEANSの活動は、令和3年には、ボランティア・スピリット・アワード（主催：プルデンシャル生命保険ほか）で、全国で8団体の奨励賞に選出されました。また、令和5年にも同アワードで入賞するなど、地域や社会のために自ら行動を起こす姿勢が高く評価されています。





## 最後のおゆずり会

そんなおゆずり会も、メンバーが大  
学受験を控えていることから、令和5  
年12月が最後の開催となりました。

「文房具の回収に協力してくれる人、  
イベントを楽しみにしてくれる人……  
基山町の皆さんの力があつたからこそ、  
12回もおゆずり会を開催できました。準  
備が大変だったこともあるけれど、たく  
さんの経験をさせてもらいました。私  
の青春そのものです」と話す内田さん。  
進学後は地方創生について学び、地域

## 今までありがとう！CLEANs へのメッセージ

設立前から CLEANs を見てきて、最も感心するのは、その行動力  
です。イベント前には必ず企画書を提出され、提案やアドバイスに  
はすぐに対応していただきました。関係各所との調整もしっかり  
行っておられ、その姿勢には、私たち図書館職員も学ぶことが多く  
ありました。

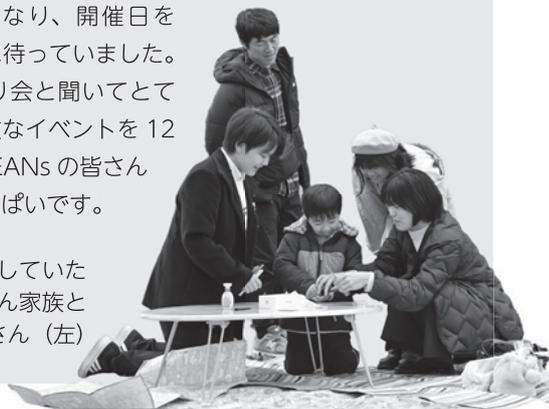
これから、それぞれ新しい環境へと羽ばたいていか  
れると思いますが、CLEANs のみんななら大丈夫！  
基山から応援しています。

基山町立図書館の城本館長



図書館に本を借りに来た日にたまたま開催されていたのが、おゆ  
ずり会を知ったきっかけです。子どもたちは文房具が大好きなの  
ですっかりファンになり、開催日を  
チェックして楽しみに待っていました。  
今日が最後のおゆずり会と聞いてとて  
も寂しいですが、素敵なイベントを 12  
回も続けてくれた CLEANs の皆さん  
に感謝の気持ちでいっぱいです。

おゆずり会に来場していた  
尾崎さん家族と  
CLEANs の内田さん（左）



## 思いが受け継がれる瞬間

この日、内田さんたちにとつて、と  
てもうれしい出来事がありました。こ  
れまでに何度か、おゆずり会に参加し  
ていた小学生が訪れ「大きくなったら

のために活躍することをめざしてい  
るそうです。メンバーの進路はそれぞれ  
ですが、社会課題の解決のために取り  
組んだ CLEANs での経験が世界に貢献  
する日も、そう遠くないかもしれませ  
ん。

CLEANs のような活動に取り組んでみ  
たい」と夢を語ってくれたのです。  
また、全国で活動する学生ボランティア  
団体の仲間たちからも、最後のおゆ  
ずり会までに譲りきれなかった文房具  
やおもちゃを引き受け、それぞれの活  
動に活かしたいとの申し出があつてい  
ます。  
全国的にも注目された、基山発の学  
生プロジェクト。込められた思いは、  
確実に次の世代へと受け継がれていま  
す。

1\_ 子どもだけでなく大人も足を止めて掘り出しもの探し / 2\_ 参加者に声を  
かける内田さん。必ず「大切に使ってくださいね」と伝えるようにしている /  
3\_ 控えめにシールを貼る人、隙間なく飾りつける人……リメイクにも個性が

